

城山高等学校 グランドデザイン

(教育目標)

心身ともに健康で豊かな情操と高い教養を身につけた、国家や社会の有為な形成者として必要な資質を持つ人物の育成を目標とする。

(教育方針) 1 学力の充実 2 進路指導の徹底 3 生活指導の充実 4 体力の向上 5 基本的人権の尊重

めざす生徒像

「学び合い、自ら学習する生徒」「礼儀正しく、他者を思いやる生徒」「心とからだを鍛える生徒」

めざす教師像

「生徒一人ひとりの学びを保障する授業づくりに努める教師」「生徒の良さや努力を認め育てる教師」

「生徒・保護者・同僚と共に考える姿勢のある教師」

かながわ教育ビジョン

- I. 生涯学習社会における人づくり
- II. 共生社会づくりにかかわる人づくり
- III. 学びを通じた地域の教育力の向上
- IV. 子育て・家庭教育への支援

「協働した学び」への取組

生徒だけが学び成長するのではなく、
教師も、保護者や地域の方々も共に学び成長する学校

- 生徒一人ひとりの学びを保障し、全ての生徒が授業に参加する。
- どの教室も同僚や保護者、地域に開かれている。
- 自ら学び・考え、一歩前に歩み出し、目標に向けて協力する力を育成する。

かながわ教育ビジョン

- V. 学び高め合う学校教育
- VI. 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり
- VII. 県立学校の教育環境の改善
- VIII. 文化芸術・スポーツの振興

中学・大学との連携

- ・学びの連続性の確立
- 相互授業参観
- 研究協議
- ・大学連携授業
- 環境教育SEET (Shiroyama Environmental Education Training)

教師が変わる

生徒と教師の
関わりを変える
「教わる」「教える」

「学ぶ」「支える」

学び合い・成長し合う教師

- ・積極的な授業公開と見学
- ・校内研修の工夫
- ・授業観・生徒観の練磨
- ・同僚性の構築

授業が変わる

生徒の学びを中心
とする授業の創造

- 「コの字型授業形態」を活かした、言語活動を促進する授業
- 「グループ学習」を活かした、分らなさに向き合い、学び合う授業
- ◇ ICT利活用授業研究推進校

生徒が変わる

生徒相互の
関わりを変える
「関係づくりが苦手」

「学び合う」「高め合う」
「認め合う」「励まし合う」

学び合い・成長し合う生徒

- ・主体的な学習・行事参加
- ・生徒会活動・部活動の活性化
- ・自発的なキャリア形成
- ・道德意識の向上

保護者・地域との連携

- ・協育ムーブメント (保護者の行事参観)
- ・インターンシップ
- ・公民館との連携事業
- ・ボランティア活動
- ・共同防災訓練
- ・外部評価、学校評議員



城友会(同窓会)との連携

教育環境の整備 安心・安全の確保

PTA・宝城会(PTAOB・OG会)との連携